

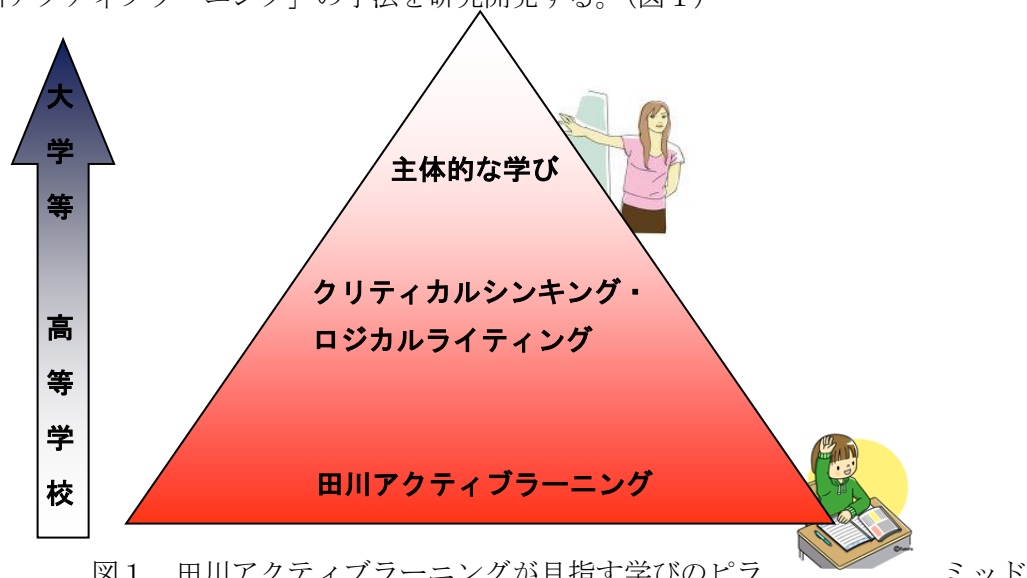
平成27年度「福岡県立高校『新たな学びプロジェクト』」 研究開発テーマ及び内容

- 1 研究開発校名 福岡県立田川高等学校
- 2 研究テーマ 「主体的な学びの土台をつくる田川アクティブラーニング」
- 3 内容

(1) 研究概要

現在、高等教育では「主体的に学ぶ」をキーワードとし、高校までの学習に比べ各段に「自分で考え、行動する」ことが重要になっている。そのため、大学1、2年次には、大学での学びについて講義が行われており、その講義の中では、主に「クリティカルシンキング」「ロジカルライティング」について演習等をとおして身につけさせている状況である。

そこで、本研究において高等教育へのスムーズな接続が可能となるように主体的な学びの土台となる「クリティカルシンキング」「ロジカルライティング」が身につく「田川アクティブラーニング」の手法を研究開発する。(図1)



(2) 1年次の研究内容

ア 研修会の実施

アクティブラーニングの方法について九州工業大学と連携し、職員研修会等を実施する。また、2年次以降の研究開発のためクリティカルシンキング、ロジカルライティングの手法についても九州工業大学やベネッセコーポレーション等と連携し実施する。

イ 田川アクティブラーニングの研究開発

研修等をとおして学んだアクティブラーニングの方法を授業の中で実際に行い、事後のプロジェクト会議で検討・改善を実施する。このときには、教材研究をとお

してアクティブラーニングで身につけさせたい力等を明確にして行う。

研究授業や公開授業においてもアクティブラーニングを実施し、生徒・保護者・地域の方々や教職員にアンケートをとり分析を行う。また、九州工業大学と連携し、授業参観等をとおして指導・助言等を受けることにより、田川アクティブラーニングの方法を深めていく。

ウ 田川アクティブラーニングのための環境整備

アクティブラーニングを行うために九州工業大学の MILAiS を参考にして講義室等にホワイトボードを設置するなど環境を整える。

(3) 2年次以降の研究開発

ア 主体的な学びの土台となる田川アクティブラーニングへの深化

田川アクティブラーニングを深化させ、情報をうのみにせず、一度立ち止まって吟味する力（クリティカルシンキング）や論理的に根拠をもって伝える力（ロジカルライティング）を確実に身につけさせる方法に改善する。この場合、授業の流れだけでなく、配布するプリント、課題の内容、ディスカッション、プレゼンテーション等の手法についてもアンケート調査等で分析・検討を行う。

イ クリティカルシンキング、ロジカルライティングの評価法の研究

田川アクティブラーニングによる授業で身に付けた力を評価する方法を研究開発する。

ウ タブレット型端末等の活用の研究

田川アクティブラーニングにおける効果的なタブレット型端末の活用について研究する。

4 校内組織

	役名	職名	氏名	担当教科・教科
○	リーダー	教諭	山形 啓二	数 学
	サブリーダー	教諭	横山 笛美	外国語・英語
	メンバー	教諭	春田 真伍	数 学
	メンバー	教諭	坂本 祐輔	理科・生物
	メンバー	教諭	井無田 了	外国語・英語